

2020年8月の天候（山形県）

目次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

F A X 023-633-0620

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2020年8月）

【今月の特徴】

○中旬から下旬の高温

- ・村山で28日に、日最高気温の高い方から8月として第1位を更新した。
- ・前線による大雨により、高峰で16日の日降水量が8月として第1位を更新した。
- ・山形の月平均気温は、1889年の観測開始以来、高い方から第4位を更新した。

【概況】

月

本州付近に高気圧が張り出したため、晴れの日が多かった。月の前半は、前線や気圧の谷の影響で天気は数日周期で変わり、大雨となった日もあったが、後半は、高気圧に覆われて晴れの日が続いた。また、暖かい空気に覆われやすかったため、中旬から下旬にかけて厳しい暑さとなり、日最高気温が35℃以上の猛暑日となる日もあった。

月平均気温は高く、かなり高い所もあった。月降水量は平年並から多く、村山、置賜では少ない所があった。月間日照時間は平年並から多い。

上旬

前半は高気圧に覆われ晴れの日が多く、後半は前線や低気圧の影響により曇りや雨の日が多かった。1日は、気圧の谷の影響により庄内と最上で大雨になった所があった。8日から9日にかけては、東北地方に停滞した前線と前線上の低気圧が通過した影響により、県内のほぼ全域で大雨となった。なお、山形県を含む東北南部は、8月2日ごろ梅雨明け（平年より8日遅い）したとみられる。

旬平均気温は平年並。旬降水量は多いから平年並、庄内と最上ではかなり多い所もあった。月間日照時間は少ないから平年並。

中旬

気圧の谷や前線の影響により曇りや雨の日が多かったが、期間の終わりごろは高気圧に覆われて晴れの日が続いた。12日から13日にかけては気圧の谷の影響で庄内や最上で大雨となった所があった。また、前線の影響で16日は置賜で、17日は庄内で大雨となった所があった。なお、11日と20日は気温が高く、県内各地で日最高気温が30℃以上の真夏日となり、35℃以上の猛暑日となった所もあった。

旬平均気温は高く、村山、置賜ではかなり高い所もあった。旬降水量は平年並から多い。旬間日照時間は多いから平年並、庄内では少ない所があった。

下旬

高気圧に覆われて晴れる日が多く、気温も高い日が続き、21日と26日から29日にかけては最高気温35℃以上の猛暑日となった所があった。一方、30日から31日にかけては前線や低気圧の影響で、曇りや雨となり、庄内では大雨となった所があった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は少なく、かなり少ない所もあった。旬間日照時間は多く、かなり多い所もあった。

2 日々の気圧配置（2020年8月）

- 1日：東北地方は気圧の谷となる。
- 2日：高気圧が千島近海にあって北日本を覆う。
- 3日：高気圧が日本の南にあってほとんど停滞する。一方、気圧の谷が日本海を北東へ進む。
- 4日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 5日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、前線が北海道付近に停滞する。
- 6日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。一方、台風第4号から変わった低気圧が朝鮮半島付近にあって北東へ進む。
- 7日：低気圧が日本海北部にあって北東へ進み、低気圧からのびる前線が東北地方を南下する。
- 8日：前線が東北南部に停滞し、前線上の低気圧が日本海を東へ進む。
- 9日：前線が日本海から東北地方にのび、前線上の低気圧が東北北部を通過する。
- 10日：前線が北海道に北上する。一方、本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 11日：高気圧が本州付近を緩やかに覆う。一方、低気圧が日本海北部にあって北東へ進み、前線が日本海西部にのびる。
- 12日：気圧の谷が東北地方を通過する。
- 13日：北日本は気圧の谷となる。一方、高気圧が本州付近を覆う。
- 14日：低気圧が中国東北区にあって北東へ進み、温暖前線が東北地方にのびる。
- 15日：低気圧が北海道付近にあって東北東へ進み、前線が東北地方を南下する。
- 16日：前線が日本海から東北地方を通過して日本の東にのびる。
- 17日：前線が日本海から東北地方を通過して日本の東にのびる。
- 18日：日本付近は高気圧に覆われる。
- 19日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 20日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。一方、前線が北海道地方をゆっくり南下する。
- 21日：高気圧が本州付近を覆う。一方、前線が日本海から津軽海峡付近に停滞する。
- 22日：東北地方は気圧の谷となる。
- 23日：高気圧が日本海にあって東北地方を覆う。
- 24日：東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 25日：引き続き、東北地方は高気圧に緩やかに覆われる。
- 26日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、台風第8号が黄海にあって北へ進む。
- 27日：引き続き、本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 28日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。
- 29日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。一方、前線が日本海から北海道を通過して日本の東にのびる。
- 30日：前線が日本海から東北地方を通過して日本の東にのび、ゆっくり南下する。
- 31日：低気圧が秋田沖にあって、ほとんど停滞する。一方、高気圧がオホーツク海にあって東北地方に張り出す。

3 気候統計値（2020年8月）

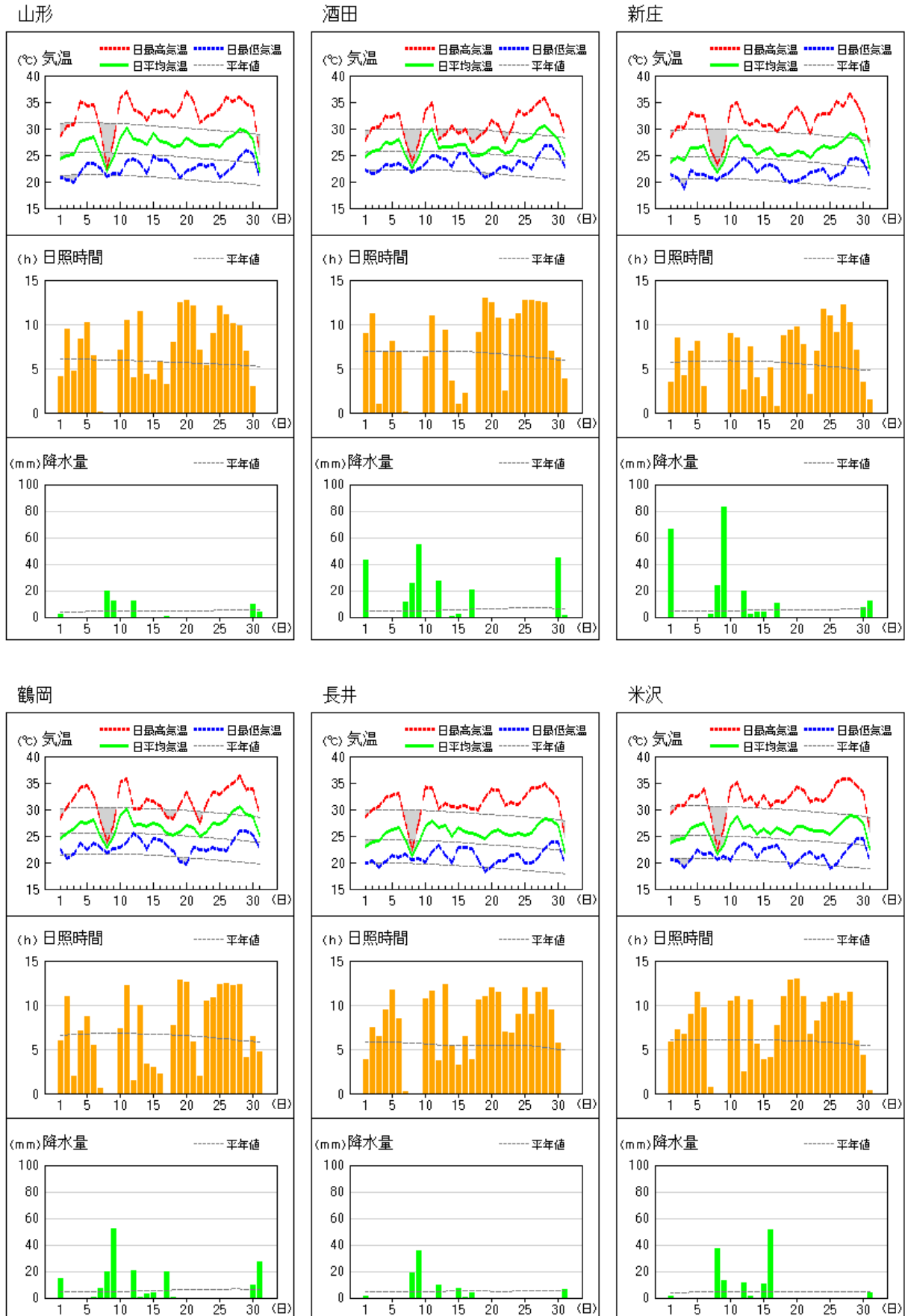
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	25.8	+0.1	平年並	34.0	75	平年並	50.5	83	平年並
	中旬	27.9	+2.9	かなり高い	12.5	30	平年並	75.6	130	多い
	下旬	27.3	+3.2	かなり高い	13.5	21	少ない	86.6	145	多い
	月	27.0	+2.1	かなり高い	60.0	40	少ない	212.7	119	多い
酒田	上旬	26.0	+0.2	平年並	134.5	353	かなり多い	49.4	70	少ない
	中旬	26.5	+0.8	高い	50.0	94	多い	61.5	88	少ない
	下旬	27.6	+3.0	かなり高い	45.5	52	少ない	102.3	151	かなり多い
	月	26.7	+1.4	高い	230.0	129	多い	213.2	102	平年並
新庄	上旬	24.9	+0.2	平年並	175.0	436	かなり多い	43.1	73	少ない
	中旬	26.0	+1.6	高い	40.0	71	平年並	57.9	98	平年並
	下旬	26.5	+3.3	かなり高い	19.0	27	少ない	82.9	151	多い
	月	25.8	+1.7	高い	234.0	140	多い	183.9	107	平年並
米沢	上旬	25.0	-0.2	平年並	51.5	112	平年並	61.0	99	平年並
	中旬	26.4	+1.7	高い	74.0	161	多い	81.9	133	多い
	下旬	26.6	+2.9	かなり高い	3.5	6	かなり少ない	90.7	148	多い
	月	26.0	+1.5	高い	129.0	87	平年並	233.6	127	多い

注】次の表示の場合 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし。

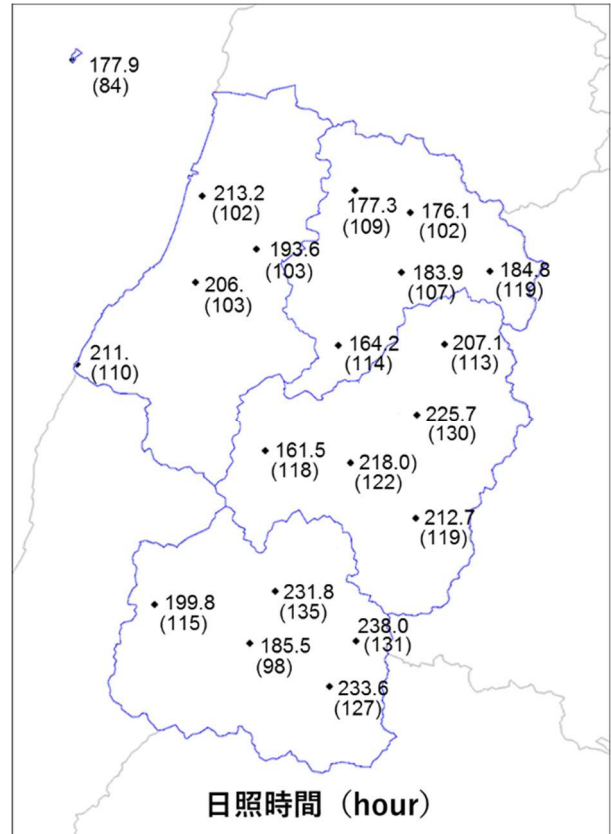
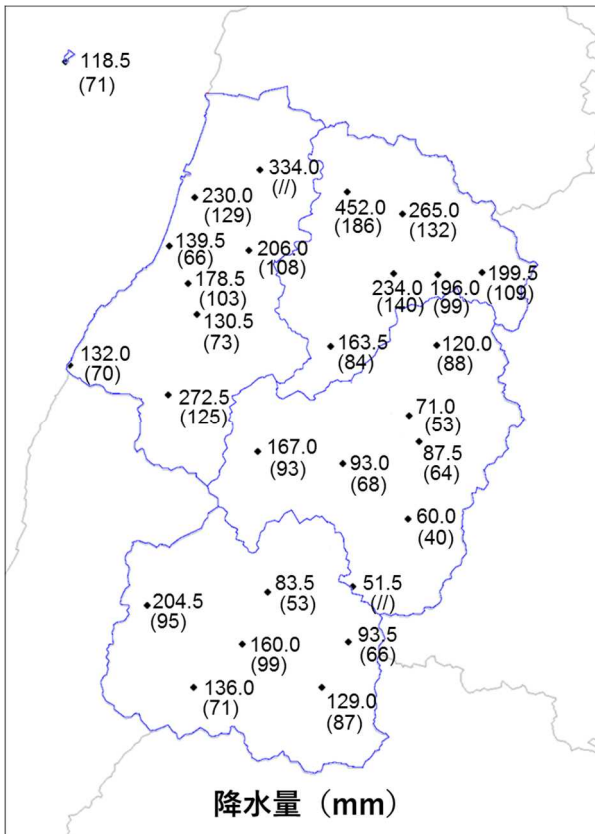
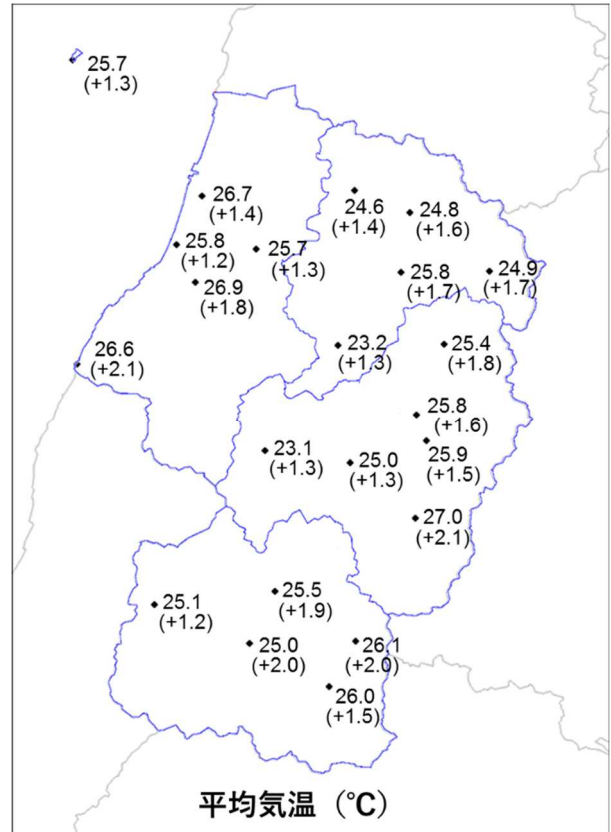
平年値は1981～2010年の平均値。

4 気象経過図（2020年8月）

アメダス 気象経過図：2020年08月01日-2020年08月31日



5 気象分布図（2020年8月）



注】) は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の () 内は平年差 (°C)、降水量の () 内は平年比 (%)、日照時間の () 内は平年比 (%) を示す。
平年値は1981~2010年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2020年8月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄)8月として第1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	新庄	61.5	2	8月1日	1958年

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):8月として第1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	高峰	87.5	1	8月16日	1976年
日最高気温の高い方から (℃)	村山	36.0	1	8月28日	2002年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

・生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測や、「うぐいす」・「あぶらぜみ」の鳴き声を初めて聞いた日、「つばめ」・「ほたる」を初めて見た日などの動物季節観測を行っています。

観測された結果は、季節の遅れ進みや、気候の違いなど総合的な気象状況の推移を把握するのに用いられる他、新聞やテレビなどにより生活情報のひとつとして利用されています。

【生物季節観測】(2020年8月)

種目	現象	2020年	平年	平年との差	2019年	昨年との差	観測した場所
すすき	開花	8月10日	8月15日	5日早い	8月7日	3日遅い	気象台構内
やまはぎ	開花	8月13日	8月28日	15日早い	8月15日	2日早い	気象台構内
あきあかね	初見	8月23日	8月14日	9日遅い	8月27日	4日早い	気象台構内
えんまこおろぎ	初鳴	8月10日	8月14日	4日早い	8月11日	1日早い	山形市上町

生物季節観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。

https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu_top.htm